GZS-001769-001-00 2022 年 6 月 第 2 版 © NEC Corporation 2022

1 / 44

NX7700x/A6010E-2 シリーズ

EXPRESSBUILDER 更新ガイド

目次

目次	2
1. はじめに	4
2. 本書について	4
2.1. 本文中の記号について	4
3. 準備	5
3.1. 事前確認	5
4. 接続	6
5. 装置コンソール接続方法	7
5.1. ILO WEB インターフェース接続方法	7
5.2. リモートコンソール接続方法	11
5.3. EXPRESSBUILDER のマウント方法	
6. EXPRESSBUILDER 更新手順と環境設定手順	14
6.1. EXPRESSBUILDER 更新手順	15
6.2. EXPRESSBUILDER 環境設定クリア手順	20
6.3. EXPRESSBUILDER 環境設定手順	25
7. 付録	33
7.1. EXPRESSBUILDER バーション確認方法	
7.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法	33
7.1.2. System Utilities での確認方法	34
7.2. リモートコンソール及び仮想メディア	35
7.2.1NETリモートコンソール (.NET IRC)の使い方	35
7.2.1.1. コンソールの起動	35
7.2.1.2. 仮想メディアのマウント方法	35
7.2.1.3. 本体装置の電源制御方法	
7.2.2. HTML5 統合リモートコンソールの使い万	
7.2.2.1. コンソールの起動	
1.4.4.4. 1018アナイトのマワイト月広	
7.2.2.5. 本体表色の电跡時間のない 7.2.3 Java 統合リチートコンソール (Java IRC) の値い方	
7231 コンソールの起動	
7.2.3.2. 仮想メディアのマウント方法	
7.2.3.3. 本体装置の電源制御方法	

<u>ご注意</u>

- 1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換を行うことは、禁止されております。
- 2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気付きの点や、ご不明の点がありましたら、弊社ま でご連絡ください。
- 4. 本書記載操作を行った結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承く ださい。
- 5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2022

日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。

1. はじめに

このたびは、NX7700x/A6010E-2シリーズ製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。 本書は、NX7700x/A6010E-2シリーズ製品向けの文書となります。

2. 本書について

本書は、対象本体装置にインストールされている EXPRESSBUILDER を更新するための手引きです。

対象製品 (本体装置)	NX7700x/A6010E-2	
EXPRESSBUILDER 更新作業時間	大凡 1 時間 30 分	(1本体装置あたり)

2.1. 本文中の記号について

本書では、下記3種類の記号を使用しています。 これらの記号と意味をご理解になり製品を正しくお取り扱いください。

★ ● 重要	製品の取り扱いや、OS、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
チェック	製品や OS、ソフトウェアを操作する上で、確認しておく必要がある点を示します。
	知っておくと役立つ情報や便利な事柄を示します。

3. 準備

本作業では、対象本体装置以外に下記物品が必要となりますので、予めご準備ください。

Table 3-1 必要となる物品

物品	数量	備考	
端末パソコン	1	本体装置に接続し、本体装置を操作するために使用します。	
		■ ご使用になる EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)を、予め当該 重要 端末パソコンのローカルディスクに収録しておいてください。	
ディスプレイ	1	本体装置に接続し、本体装置の画面として使用します。	
LAN ケーブル	1	本体装置と端末パソコンを接続するために使用します。	

- iLO Web $7 \sqrt{2} \sqrt{2}$ User Name 2 Password

- iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレス

★● ご使用になる EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)を、予め iLO Web インターフェース 重要 アクセス端末のローカルディスクに収録しておいてください。

3.1. 事前確認

[事前確認 01]

本書記載 EXPRESSBUILDER 更新手順では、Secure ブートに対応しておりません。 よって、本体装置の Secure ブートが有効になっている場合には、一旦無効に変更して頂き、FW 更新作業終 了後に有効に戻してください。

Secure ブートの現在の設定値は、{System Utilities: System Configuration \rightarrow BIOS/Platform Configuration(RBSU) \rightarrow Server Security \rightarrow Secure Boot Settings \rightarrow Current Secure Boot State}で確認できます。

Secure ブートの変更は、{System Utilities: System Configuration \rightarrow BIOS/Platform Configuration(RBSU) \rightarrow Server Security \rightarrow Secure Boot Settings \rightarrow Attempt Secure Boot}で行えます。

4. 接続

ヒン

ご準備頂いた物品を下図のとおり本体装置に接続します。

Figure 4-1 接続図



環境を構築されている場合、そのままの接続環境で構いません。

5. 装置コンソール接続方法

本書記載の EXPRESSBUILDER 更新手順では、本体装置に接続した端末パソコンから本体装置の iLO Web インターフェース及び本体装置のリモートコンソールに接続して更新作業を行います。

また、本体装置内 iLO のリモートメディア機能を使って、EXPRESSBUILDER を本体装置にマウントして更新作業を行います。

ここでは、iLO Web インターフェース接続方法、リモートコンソール接続方法、及び EXPRESSBUILDER のマウント方法を記載します。

5.1. iLO Web インターフェース接続方法

[step.a-01] iLO Web インターフェースへの接続情報の確認

A. iLO Web インターフェースの User Name と Password の確認

本体装置前面のスライドタグにある iLO ライセンスシール中に記載されている「User Name」と「Password」を控えます。



」 以降の作業で、この User Name と Password が必要になります。

B. iLO Web インターフェースの IP アドレス(IPv6)の確認

- ① 本体装置の電源コードをコンセントに取り付けます。
- ② Server Health Summary 画面をディスプレイに表示させます。 具体的には、前記①の後、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを 確認した上で、UID スイッチを押します。 そうすると、ディスプレイに下図画面が表示されますので、下図(*a*)箇所の「iLO IPv6」のアドレス を控えます。

Figure 5-1 [Server Health Summary]画面

Thur	nbnail(Server Power: OFF) (*a*) [al Log Entries b critical events	Server Health Inventory Product Name Serial Number Product ID ILD Firmware System ROM Backup ROM ILD CFLD System CFLD Embedded Smart Array ILD IPod ILD IPod	Summary		
EVF	既に、 iLO Web イン 合、本作業は不要で	ターフェースの IF ごす。	204 アドレスもしくに	はIPv6 アドレスをご存じである	词易
EVF	IPv6 の仕様として、 っています。 そのため、表示され その際は、各セクショ さい。 (例)	セクションが"0"です 3 IPv6 アドレスの ョンが 4 桁となるよ	治まる場合、"0"を行 各セクションが4株 うに、セクションの	省略して表示しても良いことに 行ではない場合があります。 先頭に"0"を付加して控えてく	なだ
	表示值: fe80::961 控え值: fe80::961	8:82ff:fe71:2b4 8:82ff:fe71: <mark>0</mark> 2b4			
	前記①の後、本体装 本体装置の電源が その場合は、POWE (スタンバイ状態にし 本体装置の電源が)	置前面の POWE DN されています。 ER スイッチを 4 秒 ます)。 DFF されると、PO	R ランプが緑色に 以上押し続けて、 WER ランプがアン	に点滅或いは点灯していた場合 本体装置の電源を OFF しまつ ノバー色に点灯します。	ト、 す
	以降の作業で、この	IPv6 アドレスが必	ふ要になります。		

[step.a-02] iLO Web インターフェースへの接続とログイン

A. iLO Web インターフェースへの接続

- 端末パソコンにて Web ブラウザ(Microsoft Edge 等)を起動し、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの IP アドレス(IPv6)をアドレスバー(①)に入力します。
 - 例) https://[abcd::efgh:ijkl:mnop:qrst]/



② セキュリティ警告が表示された場合は、上記画面の「詳細情報」(②-1)をクリックします。 そうすると、下記画面表示になりますので、「xxxx に進む (安全ではありません)」(②-2)をクリッ クしてください。

D 3 7541	(y- I5-	× +									-		×
$\leftarrow \rightarrow c$	3								îð	£¦≣	۲	8	
	-												
	422.61		100	L 72/++	= n = i								
	技称	かノラ	11-	L CI99	のりまし	20							
	攻撃者	F	から値	民情報リズス	10-F. X	(ッセージ、	クレジット	カードなど)	を盗				
	み取ろ	さとしている	の能性があ	ります。									
	NET:ERI	CERT_AUTHO	RITY_INVALID										
	11/18	非表示にす	3						6				
	このサ	ーバーは		であること	を証明でき	きませんで	した。セキ	ュリティ証明	同書				
	は、コ	ンピュータ	ーのオペレ	ーティング:	システムカ	ら信頼さ	れていません	ん。構成に書	わ				
	17:00-0	1. 1880./J	水準当によ	うて <u>約</u> 番され	0	HE (1/)/40	30.9.						
		に進む	安全ではあり	<u>)ません)</u>	(2)-2	2							

B. iLO Web インターフェースへのログイン

iLO Web インターフェースに接続できると下記画面が表示されますので、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの User Name と Password を①箇所に入力し、「ログイン」ボタンを押しま す。



ログインに成功すると、下記画面に切り替わります。



5.2. リモートコンソール接続方法

[step.b-01] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「.NET コンソール」ボタン(③)をクリックします。

		- (X
	- ○ 証明者のエラー 〇 検索	e .	12 (2) 😇
NEC 11.05 ×	・ ・ ・ ・ ・ ニンソール & メディア - ILO統合リモートコンソール ・ ・		8 ?
110	起動 (想メディア ホットキー セキュリティ		
77-4917 05 71917	一般情報		^
リモートコンソール&メディア	<u>リモートコンソールステータス</u> 和物 リ <u>モートコンソールボート</u> 1790		
パフォーマンス 80専用ネットワークポート	.NETリモートコンソール(.NET IRC)		
LO共有ネットワークボート 管理	●プラウザーは、JNET Frameworkのあるパージョンをサポートしていることを 尽しています。		
セキュリティ マネジメント	NET IRCは、Microsoft NET Framework上の単体のコンソールから、システムのKVM、仮想電源およびメディアの形態へのリモートアクセスを使用し	<i>π</i>	
EXPRESSBUILDER	North 1 も しまつに Microson MAを用している場合には、サポートされる NET Frameworkは、オペレーティングシステムに含まれています。	NET Framework 3, Mic	0608ダウン
	HTML5統合リモートコンソール		
	HTML5 IRCは、サポートされているブラウザーで動作する単一のコンソールから、システムKVMへのリモートアクセスおよび仮想メディアの刺激を提	供します。	
	HTML5コンソール		
	Java統合リモートコンソール(Java IRC)		
	Java IRCは、Java Web Startコンソールまたは、アプレットペースのコンソールからシステムのKVM、仮想電道およびメディアの刺動へのリモートア・	クセスを提供します。NE	C Corporati
	注記: OpenJDKのLinuxシステム上で、JavaプラグインをサポートするブラウザーではJavaアプレットオプションを使用する必要があります。		
			>
			1076 *

.NET リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。



「.NET リモートコンソール」が起動しない場合、「HTML5 統合リモートコンソール」或いは 「Java 統合リモートコンソール」を起動させてください。 これらリモートコンソールの起動方法は、<7.2 リモートコンソール及び仮想メディア>を参照く ださい。

5.3. EXPRESSBUILDER のマウント方法

[step.c-01] EXPRESSBUILDER のマウント

本体装置から EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)が見えるようにします。

Α.	仮想メデ	イアの)選択										
	リモートコ	コンソー	ールの[仮	[想メディア]	→ [-	イメージ	ジファイバ	CD-	ROM	1/dve)]を遵	髪択しま	す。
	LO iLO統合	リモートコン 仮想メデ	ソール - サーバー: II 1ア - ポード			-	-		×				
			E:¥ フォルダー イメージファイル URL	リムーバブルメディア リムーバブルメディア									
	2		イメージファイル URL	CD-ROM/DVD CD-ROM/DVD)								

B. EXPRESSBUILDER ファイルのマウント

ポップアップ表示された「イメージファイルのマウント」ダイアログにて、予め端末パソコン内に収録しておいた EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)を選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。

					~ Ö	Snap4_Sep_MS8の検索	P
+ #iLut	フォルダー					(iii •	
^	68	^	更新日時	21	サイズ		
OneDrive	IP331.2019_	0904.62.iso	2019/09/13 10:16	ディスク イメージ ファー	939,304 KB	(1)	
PC							
3D オブジェ							
ダウンロード							
デスクトップ							
++1/1/2							
ピクチャ							
ビデオ							
ミュージック							
ローカル・デ・							
*>>-7 -7 -						(\mathbf{z})	
	7711-5(N):					1504 774 14 (*,150)	~
						開く(O) キ	ヤンセル

上記「開く(O)」ボタン(②)をクリックしてからファイルマウントされるまで、約1分ほどかかります。

C. EXPRESSBUILDER ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点) が付いていることを確認します。



6. EXPRESSBUILDER 更新手順と環境設定手順

本体装置にインストールされている EXPRESSBUILDER の更新方法及び環境設定方法を記載します。

▼● 重要

本作業を行う前に、本体装置の電源が OFF になっていることを確認してください。 具体的には、本体装置正面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認してください。

POWER ランプが消灯している場合、電源コードがコンセント或いは本体装置から外れている可能性がありますので、ご確認ください。 POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯している場合、本体装置の電源が ON されています。 POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF してください(スタンバイ状態にしてくだ さい)。 本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。

Figure 6-1 作業手順フロー



6.1. EXPRESSBUILDER 更新手順

本体装置にインストールされている EXPRESSBUILDER の更新方法を記載します。

[step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインしま す。 具体的な手順は、前記 < 5.1 iLO Web インターフェース接続方法 > を参照してください。

[step.1-02] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。 具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

[step.1-03] EXPRESSBUILDER ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。 具体的な手順は、前記<5.3EXPRESSBUILDER のマウント方法>を参照してください。

[step.1-04] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。 具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。

■0 礼の統合リモットヨンソール - サーバー:	-	×
電源スイッチ (F) (年) キーホード ① 瞬間的に押す 20		

	-
5	ヒント

リモートコンソールでのその他電源操作については、<7.2.1.3本体装置の電源制御方法 >に記載しております。

[step.1-05] Boot Menu の起動

本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。

NEC
NEC NX7700x/A6010E-2 System ROM Version: U46 v1.50 (06/17/2021) Serial Number:
Installed System Memory: 256 GB, Available System Memory: 256 GB
2 Processor(s) detected, 32 total cores enabled, Hyperthreading is enabled Proc 1: Intel(R) Keon(R) Gold 6346 CPU @ 3.10GHz Proc 2: Intel(R) Keon(R) Gold 6346 CPU @ 3.10GHz UPI Speed: 11.2 GT/s
Workload Profile: Custom Power Regulator Mode: Dynamic Power Savings Advanced Memory Protection Mode: Fast Fault Tolerant Memory (ADDDC) RAS Mode: Firmware First Boot Mode: UEFI HPE Memory authenticated in all populated DIMM slots.
Starting required devices. Please wait, this may take a few moments
<f11>キーが押さえれると、 白背景色に変わる。</f11>
F9 System Utilities F10 EXPRESSBUILDER F11 Boot Menu F12 Network Boot

[step.1-06] EXPRESSBUILDER の更新

Δ	記動デバイスの選択
л.	

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3: iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



B. EXPRESSBUILDER 更新の完了待ち

下記画面に切り替わり、EXPRESSBUILDER の更新が開始されます。

		NX7700x/A6010E-2
Sipolate	•	Update 15D Version 3.64 Communicating with ILO You may lose ILO remote connection while running this update process
The right high herd entry will be exercised automatically in 7s.		



C. EXPRESSBUILDER のマウント解除

EXPRESSBUILDER 更新が完了すると、下記画面に切り替わります。

Firmware Revision = 2.44 Device type = iLO 5 Driver name = hp:	10		
Percent: [==================================]	100%	Done	
Percent: [==================================]]	100%	Done	
Percent: []	100%	Done	
Percent: [==================================]	100%	Done	
Percent: [==========]]	100%	Done	
Percent: [====================================	100%	Done	
Percent: [====================================	100%	Done	
Percent: [====================================	100%	Done	
<inform>Firmware flash starting.</inform>			
Percent: [==================================]	100%	Done	
<inform>Firmware flash in progress [5%].</inform>			
Percent: [=================================]	100%	Done	
<inform>Firmware flash in progress [9%].</inform>			
Percent: [==================================]	100%	Done	
<inform>Firmware flash in progress [16%].</inform>			
Percent: [=========]]	100%	Done	
<inform>Firmware flash in progress [22%].</inform>			
Percent: [====================================	$100 \times$	Done	
<inform>Firmware flash in progress [30%].</inform>			
Percent: [==================================]	100%	Done	
B	100%	Done	
Please remove the CDROM and press ENTER or wait five seconds			

上記画面に切り替わりましたら、

リモートコンソールにおいて、EXPRESSBUILDER のマウントを解除します。 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]に チェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



D. 本体装置の再起動

下記画面表示から5秒経過すると、自動的に本体装置が再起動します。

Firmware Revision = 2.44 Device type = iLO 5 Driver name = hp	i 10	
Percent: [====================================	100%	Done
Percent: [====================================	100%	Done
Percent: []	100%	Done
Percent: [====================================	100%	Done
<inform>Firmware flash starting.</inform>		
Percent: [====================================	100%	Done
<inform>Firmware flash in progress [5%].</inform>		
Percent: [====================================	$100 \times$	Done
<inform>Firmware flash in progress [9%].</inform>		
Percent: [===============================]]	100%	Done
<inform>Firmware flash in progress [16%].</inform>		
Percent: [====================================	100%	Done
<inform>Firmware flash in progress [22%].</inform>		
Percent: [====================================	$100 \times$	Done
<inform>Firmware flash in progress [30%].</inform>		
Percent: [====================================	100%	Done
	10 0%	Done
Please remove the CDROM and press ENTER or wait five seconds		

[step.1-07] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



[step.1-08] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」→ 「Embedded UEFI Shell」を選択します。

NEC	System Utilities	٧	? q @ 07 B
↑ System Utilities	\rangle		
NEC NX7700x/A60 ⁻⁷ Server SN: ILO IPv4: ILO IPv4: ILO IPv6: User Default: ON Secure Boot: Disabled Boot Mode: UEFI System ROM: U46 v1.	System Configuration 10E-2 Construct Mean Embedded Applications System Health So (06/17/2021) Exit and resume system boot Reboot the System		
Entar: Select ESC Exit F7: Holp Defaults F10: Save F11: Save and Exit	Select Language Setup Browser Selection		iglish V

[step.1-09] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

Shell> reset -s



[step.1-10] 本体装置の AC OFF → ON

EXPRESSBUILDER 更新を適切に反映させるために、本体装置を $\{AC \text{ OFF} \rightarrow AC \text{ ON}\}$ させます。

A. 本体装置の AC OFF

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての 電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。

本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯します。 電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

B. 本体装置の AC ON

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し 込み AC ON させてください。

そして、本体装置が AC ON 完了するまで待ち合わせます。

具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待ち合わせます。

本体装置に依っては、AC-Link機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON される場合があります。 電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯しま す。 電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを4 秒以上押し 続けて、本体装置を電源 OFF してください。

6.2. EXPRESSBUILDER 環境設定クリア手順

EXPRESSBUILDER を更新した後、一旦 EXPRESSBUILDER の環境設定をクリアします。 以下に、EXPRESSBUILDER の環境設定のクリア方法を記載します。

[step.2-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

[step.2-02] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。 具体的な手順は、前記 < 5.2 リモートコンソール接続方法 > を参照してください。

[step.2-03] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。 具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。

■ iLO統合リモナセヨンソール - サーバー:	-	×
電源スイッチ 次季メディア キーボード		

リモートコンソールでのその他電源操作については、<7.2.1.3本体装置の電源制御方法 >に記載しております。

[step.2-04] EXPRESSBUILDER の選択

リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F10>キーを押して EXPRESSBUILDER を起動します。



[step.2-05] EXPRESSBUILDER の起動

POST にて<F10>キーを押すと、POST 終了後、下記画面に切り替わりますので、「Provisioning」を選択します。

S	nart Storage Administrator		
S	erver Hardware Diagnostics UEFI		
S	erver Hardware Diagnostics Full Test		
	The highlighted entry will be exe	cuted automatically in 7s.	

EXPRESSBUILDER が起動すると、下記 EXPRESSBUILDER:トップ画面に切り替わります。



[step.2-06] EXPRESSBUILDER 環境設定のクリア

A.「メンテナンスの実行」の選択

下記 EXPRESSBUILDER:トップ画面にて、「メンテナンスの実行」を選択します。

NEC	NX7700x/A6010E-2	\$ A ¥ 0 U
	EXPRESSBUILDER	
	Rapid Setup メンテナンスの実	行





C.「EXPRESSBUILDER 環境設定」の選択

下記 EXPRESSBUILDER:システムの消去およびリセット画面にて、「EXPRESSBUILDER 環境設 定」(①)を選択し、「送信」(②)をクリックします。

P	JEC NX7700x/A6010E-2		🕲 ⋒ 🍹	
消去す	るデバイスを選択してください	選択すると、	この色に変わる	
\ominus	すべてのハードディスクドライブ このサーバー上のすべてのハードドライブを消去しま	1. T		
00	EXPRESSBUILDER環境設定 EXPRESSBUILDER 環境設定のクリア	1		
fi	Active Health Systemログ すべてのAHSログのクリア			
		送信	2	

D. 環境設定クリアの実行

下記 EXPRESSBUILDER:ジョブ構成ビューアー画面に切り替わりますので、①箇所に「システムの 消去及びリセット」と表示されていることを確認したのち、「すぐに起動」(②)をクリックします。



ジョブ実行(環境設定クリア)が開始されると、下記画面に切り替わりますので、しばらくお待ちくださ

NEC NX7700x/A6010E-2		
ジョブビューアー		
サーバーステータス		
◎ サーバーは起動済み		
ジョブステータス		
⇒ システムの消去およびリセット	完了 100%	× 0

D. 本体装置の再起動

ジョブ実行(環境設定クリア)が終了すると、下記画面に切り替わりますので、「再起動」をクリックして、本体装置を再起動させてください。

NEC NX7700x/A6010E-2		80000
ジョブビューアー		
サーバーステータス		
◎ サーバーは起動済み		
ジョブステータス		
▽ システムの消去およびリセット	完了100%	0
	完了再起動	

6.3. EXPRESSBUILDER 環境設定手順

EXPRESSBUILDER の環境設定方法を記載します。

[step.3-01] EXPRESSBUILDER の選択

本体装置が再起動され、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F10>キーを押して EXPRESSBUILDER を起動します。

NEC
NEC NX7700x/A6010E-2 System ROM Version: U46 v1.50 (06/17/2021) Serial Number:
Installed System Memory: 256 GB, Available System Memory: 256 GB
2 Processor(s) detected, 32 total cores enabled, Hyperthreading is enabled Proc 1: Intel(R) Xeon(R) Gold 6346 CPU @ 3.10GHz Proc 2: Intel(R) Xeon(R) Gold 6346 CPU @ 3.10GHz UPI Speed: 11.2 GT/s
Workload Profile: Custom Power Regulator Mode: Dynamic Power Savings Advanced Memory Protection Mode: Fast Fault Tolerant Memory (ADDDC) RAS Mode: Firmware First Boot Mode: UEFI HPE Memory authenticated in all populated DIMM slots.
Starting required devices. Please w <f10>キーが押されると、 白背景色に変わる。</f10>
iLO 5 IPv4: iLO 5 IPv6:
F9 System Utilitie: F10 EXPRESSBUILDER F11 Boot Menu F12 Network Boot

[step.3-02] EXPRESSBUILDER の起動

POST にて<F10>キーを押すと、POST 終了後、下記画面に切り替わりますので、「Provisioning」を選択します。



EXPRESSBUILDER が起動すると、下記 EXPRESSBUILDER: FIRST TIME SET UP WIZARD 画面 に切り替わりますので、「FIRST TIME SET UP WIZARD」をクリックします。



[step.3-03] EXPRESSBUILDER の環境設定

A. 言語およびタイムゾーンの設定

下記画面表示に切り替わりますので、下表 < Table 6-1 言語及びタイムゾーン設定値 > 記載通りの 設定値に変更したのち、「次へ」(④)をクリックします。

NEC NX7700x/A6010E-2		0	000
言語およびタイムゾーンを選択します	914	y-> 3	
日本語	✓ UTC+00	9:00、大阪、札俶、東京、ソウル、ヤクーツク	\bigtriangledown
キーボード言語:	システ	ム日付	
日本語	2021/09	1/21	白
ブートBIOSモード UEFI最適化ブート		ム時刻 4	©
Ų		フィードバック有効	
	<u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u>	4	

Table 6-1 言語及びタイムゾーン設定値

番号	項目	設定値	
1	インターフェイス言語	日本語	
2	キーボード言語	日本語	
3	タイムゾーン	UTC+09:00, 大阪、札幌、東京、…	
※ 上記以外の項目は設定変更しないでください。			

B. ソフトウェア使用許諾

下記画面表示に切り替わりますので、使用許諾契約書をお読みいただき、「EXPRESSBUILDER 使用許諾契約書に同意」(①)のチェックボックスにチェック(レ点)を入れて、「次へ」(②)をクリックします。

NEC	NX7700x/A6010E-2	
使用許諾契約書を	お読みください	
	ソフトウェアのご使用条件	1
日本電 諾プロ: ただく 効果に	気格式会社 (以下、「弊社」といいます)は、本使用条件とともに提供するソフトウェア・プログラム(グラム」といいます)を目本国内で使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項 わらします。お客様が用得する原料を得るための活成プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用 つきましては、お客様の責任とさせていただきます。	以下、「許 にご同意い および使用
1.1	8.00	
	a本使用条件は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。	
	b.お客様は、1ヶ月以上前に、弊社完書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許 プログラムの使用権を終了させることができます。	堪される許諾
	c弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反したときは、いつでも許諾プログラムの使用 ることができるものとします。	権を終了させ
-	a 許諾プログラムの使用権は、本使用条件の規定に基づき終了するまで有効に存続します。	
(1)	xPRESSBUILDER 使用許諾契約書に同意 前へ 次へ 2	-

C. サーバー最適化の設定

下記画面表示に切り替わりますので、「このサーバーを使用する目的は何ですか?」項目(①)において、適切なワークロードプロファイルを選択し、「次へ」(②)をクリックします。



D. ネットワークの設定

下記画面表示に切り替わりますので、設定変更せず、そのまま「次へ」をクリックします。

NEC NX7700x/A6010E-2		
ットワーク設定		
ネットワークインターフェイスを選択	DHCPの自動構成	IPvo
	静的:Pv4	
プロキシを使用	ネットワークマスク	
Webプロキシサーバー	ゲートウェイアドレス	
ボート		
	プライマリDNSサーバー	
Webプロキシサーバー		
ボート	セカンダリDNSサーバー	
前へ	次へ	

E. iLO ネットワークの構成

下記画面表示に切り替わりますので、設定変更せず、そのまま「送信」をクリックします。

● DHCPの自動構成	
静的(Pv4	
0.0.0	
ネットワークマスク	
00.00 #=================================	
0000	
プライマリロト5サーバー	
セカンダリDNSサーバー	
前在一洋信	

F. 環境設定の保存

① 下記設定保存確認の旨がポップアップ表示されますので、「はい」をクリックします。

? 確認	
よろしいですか? 続行してすべての設	定を保存します。
キャンセル	はい

環境設定の保存が開始されると、下記画面表示に切り替わりますので、しばらくお待ちください。





② 環境設定の保存が完了すると、下記システムリセット(再起動)を促す旨がポップアップ表示されま すので、「OK」をクリックします。

▲ EXPRESSBUILDER環境設定
設定を有効にするためにシステムをリセットしてくださ い。 2
Ok

	下記ポップアップ画面が表示された場合は、「OK」をクリックしてください。
Ø <u>E9</u> F	▲ ILO 設定ユーティリティ
	DHCPがSNTP設定を提供するように構成されている場合、 [TimeZone] を変更できません。DHCPv4とDHCPv6の両方 で、SNTP構成オプションを無効にして(/Managers/n/NICsを 参照)、必要に応じて静的設定でSNTPを再構成します。
	Ok
	NICは検出されません NIC auto not detected or lost connection, use Embedded LOM 1 Port 1 Instead OK
	▲ リンクされたネットワークインターフェイスを検出 できません
	NIC auto を検出できない、または接続を失いました。代わ りに 68:05:CA:CB:99:DD を使用してください
	Ok

[step.3-04] 本体装置の再起動

下記 EXPRESSBUILDER:トップ画面に切り替わりますので、画面右上の電源ボタンアイコン(①)をクリッ



そうすると、下記再起動確認の旨がポップアップ表示されますので、「はい」をクリックします。

? 再起動		
よろしいですか? 続行すると、	システムを再	起動します。
	キャンセル	はい

[step.3-05] System Utilities の起動

ヒント

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



これは、EXPRESSBUILDERの環境設定を反映させるための動作であり、この処理に最大約20分ほどかかります。

[step.3-06] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 \rightarrow 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



[step.3-07] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

Shell> reset -s



以上で、EXPRESSBUILDER 更新及び EXPRESSBUILDER 環境設定作業は終了です。

7. 付録

7.1. EXPRESSBUILDER バーション確認方法

7.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」 タブ(②)をクリックします。そして、[ファームウェア名 : EXPRESSBUILDER]箇所(③)にて、バーションを確認します。



7.1.2. System Utilities での確認方法

① 下記 BIOS POST 画面表示時に、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



② {System Information \rightarrow Firmware Information}と選択していき、Firmware Information 画面を表示させ、 [EXPRESSBUILDER]箇所(②)にて、バーションを確認します。

NEC System Information *		? 🔍 🖷 🛱 🗒
✿ System Utilities > System Inf	ormation > Firmware Information >	
NEC NX7700x/A6010E-2 Server SN: ILO IPv4: User Default: ON Secure Boot: Disabled Boot Mode: UEFI System ROM: U46 v1.50 (06/17/2021)	Firmware Information System ROM Redundant System ROM Power Management Controller Firmware Power Management Controller Firmware Bootloader System Programmable Logic Device Server Platform Services (SPS) Firmware Intelligent Platform Abstraction Data Smelt Skreape Exercute Berk Elemented EXPRESSBUILDER	U46 1.50 6/17/2021 U46 1.50 6/17/2021 1.0.7 1.1 0x13 4.4.4.53.0 8.3.0 Build 41 0.70 3.64.2
Enter: Select ESC: Exit F1. Help F7. Load Defaults F10: Save F12: Save and Exit	Embedded Video Controller PCIe Riser 1 Programmable Logic Device HPE Smart Array P408i-a SR Gen10 Intel(R) Ethernet Network Adapter 1350-T4 for OCP NIC 3.0 iLO Firmware	2.5 0x11 3.00 1.2839.0 2.44

7.2. リモートコンソール及び仮想メディア

7.2.1. .NET リモートコンソール (.NET IRC)の使い方

7.2.1.1. コンソールの起動

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)を クリックします。そして、「.NET コンソール」ボタン(③)をクリックします。



.NET リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。



7.2.1.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

A. 仮想メディアの選択

リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD]を選択します。



B. iso ファイルのマウント

ポップアップ表示された「イメージファイルのマウント」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。

イメージ ファイルのマウント					
→ * ↑			✓ Õ 2018-	1114(Snap3MS8)の検索	,e
E理 - 新しいフォルダー				BH • 🔲	
OneDrive		Wei Die		H / H	
PC PC	S8.80-001.05-1114.iso	2018/11/14 11:52	ディスク イメージ ファー	3,712,912 KB	J
30 オブジェクト	-				
i i					
ダウンロード	_				
デスクトップ					
📄 ドキュメント					
■ ビクチャ					
📰 धन्नत					
ミュージック					
🏪 ローカル ディスク (C:)					
👝 ローカル ディスク (D:)					
🌛 ネットワーク	v				
7711-6(N):	1			(*.150)	

C. iso ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。





マウント解除する場合は、リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD] にチェック(レ点)が付いている状態で、[イメージファイル CD-ROM/DVD]をクリックします。

7.2.1.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソールの[電源スイッチ]をクリックすると、電源操作メニューが表示されます。 表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置 電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとします。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

7.2.2. HTML5 統合リモートコンソールの使い方

7.2.2.1. コンソールの起動

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)を クリックします。そして、「HTML5 コンソール」ボタン(③)をクリックします。



HTML5リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。



7.2.2.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

A. 仮想メディアの選択

リモートコンソールの 👩 をクリックし、 [CD/DVD] → [ローカル *.iso ファイル]を選択します。



B. iso ファイルのマウント

ポップアップ表示された「アップロードするファイルの選択」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。

🧐 アップロードするファイルの道沢					>
e 🦻 v 🛧 🦲 🖬 👘 👘			v Ö Snap	3M58の検索	,p
整理・ 新しいフォルダー				(65 · (. 0
PC	^ 6E ^	更新日時	性相	サイズ	
3Dオブジェクト	1 S8.80-001.05-1114.iso	2018/11/14 11:52	ディスク イメージ ファー	3,712,912 KB	
2					
2					
↓ ダウンロード					
= デスクトップ					
ドキュメント					
こ ピクチャ					
🔚 ビデオ					
♪ ミュージック					
🏪 ローカル ディスク (C:)					
- ローカルディスク (D:)					
🥩 ネットワーク					
77(1)-6(N):			~ 272	7ムファイル (*.iso)	~
				HT ((0)	and a second
				HE((0) 44.	JEN .

C. iso ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの 🔘 をクリックし、 [CD/DVD] にチェック(レ点)が付いていることを確認します。



7.2.2.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソールの - をクリックし[電源]を選択すると電源操作メニューが表示されます。 表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置 電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとします。
		但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。
		その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してくださ
		√۰ _°
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

7.2.3. Java 統合リモートコンソール (Java IRC) の使い方

7.2.3.1. コンソールの起動

- ① iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②) をクリックします。そして、「Web Start」ボタン(③)をクリックします。
- ④「…を開くか、または保存しますか?」とポップアップ表示されたならば、「ファイルを開く(0)」をクリックします。
- ⑤「このアプリケーションを実行しますか。」とポップアップ表示されたならば、「実行(R)」をクリックします。

尚、この画面がポップアップ表示されるまで約1分ほどかかります。

⑥ セキュリティ警告画面がポップアップされたならば、「続行」をクリックします。



Java 統合リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。



7.2.3.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

A. 仮想メディアの選択

リモートコンソールの[仮想ドライブ] → [イメージファイル CD/DVD-ROM]を選択します。



B. iso ファイルのマウント

ポップアップ表示された「ディスクイメージファイルを選択してください」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している isoファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。

🏝 ディスクイメージフォ	ァイルを選択してください					×
ファイルの場所(I):			v 🗿 🤌 🛤	•		
	名前	^	東新日時	1815	サイズ	
באמיד היי את	S8.80-001.05-11	114.iso	2018/11/14 11:52	ディスク イメージ ファ	3,712,912 KB	
デスクトップ	1					
7 759						
PC						
ジ ネットワーク						
						2
	ファイル名(N):	*.iso			~	聞く(0)
	ファイルの種類(T):	すべてのファイル (*.*)			~	キャンセル

C. iso ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの[仮想ドライブ]をクリックし、[イメージファイル CD/DVD-ROM]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。



マウント解除する場合は、リモートコンソールの[仮想ドライブ] → [イメージファイル CD/DVD-ROM] にチェック(レ点)が付いている状態で、[イメージファイル CD/DVD-ROM]をクリックします。

7.2.3.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソールの[電源スイッチ]をクリックすると、電源操作メニューが表示されます。 表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OF	FF 状態のとき」
------------	-----------

11/

トント

	∞ iLの統合リモートコンソール - サーバー:
1	電源スイッチ 仮想ドライブ キーボード ヘルプ
~	○岐間的に押す

[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置	電源操作メニュー	アクション
電源状態		
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとします。
		但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。
		その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してくださ
		ℓ ^ν ₀
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

NEC NX7700x シリーズ

NX7700x/A6010E-2 シリーズ EXPRESSBUILDER 更新ガイド

2022年6月第2版

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号 TEL (03) 3454-1111 (大代表)

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2022

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。